

福島高の医学コース「いごころ講座」

医療の先人に得る学び

進路選択へ興味深める



プレコセブションケアについて講義する小川特任教授(右)

福島市の趣味や関心を深めてい
島高は医学部
進学を目指す

「医学コース」
の生徒を対象
に、福島医大
の教授らを招
いた「いごこ
ろ講座」を開
いている。取
り組みは3年
目になり、生
徒は医療の第
一線で患者と
向き合う姿や
身近な健康問
題に触れ、興

1月29日は女性やカ
ップルが若いうちか
ら将来の妊娠や体の
変化に備える「プレコ
セブションケア」に
ついて、福島医大ふく
しま子ども・女性医療
支援センターの小川
真里子特任教授が講
義した。医学コースの
1年生約30人が臨ん
だ。

ルス)に起因する子宮
頸(けい)がんの予防、
体格指数(BMI)18
・5以下の「やせすぎ」
のリスクなど幅広い話
題に触れ、「周囲の意
見に流されず、自分の
心と体を守るための決
断をしてほしい」と呼
びかけた。

受講した稲村歩夢さ
ん(15)は「男性もH
PVに感染する可能性



福島医大の広報紙「い
ごころ」。大学のホー
ムページで確認できる

があると知り驚いた」
と振り返り、佐々木結
衣さん(16)は「がん
研究に興味がある。専

門的な話を聞けて良か
った」と語った。

講座は医大が県内の
高校生向けに年4回発

行している広報紙「い
ごころ」がきっかけで
して残すなど生徒の進

福島高が依頼した。年
2回講師を招き、受講
る。